

第 1 回有識者懇話会における主なご意見と骨子案への反映状況

	主な意見	反映状況
工藤委員	・松前町の日本海側には風力発電があり、カーボンニュートラルを目指したまちづくりを進めているが、 <u>半導体の技術が発展すれば、新しいエネルギーを作り出す力が生まれる</u> と思う。	【方針 4：地域経済の活性化】 ・「①デジタルの好循環の全道展開」の「道内産業のスマート化」に反映
	・半導体の技術が進み、使用するエネルギーが少なくなれば、北海道はさらに住みやすく、世界が目指すべき地域になるのではないかと思う。 <u>世界から北海道を目指して来てもらいたい。</u>	【方針 4：地域経済の活性化】 ・「②地域の付加価値の向上」の「関連投資や関係人口の拡大」に反映
久米委員	・ <u>ラピダス社が立地することで、サプライチェーンが良い方向に進めば、地場産業の活性化という意味でも良い</u> と思う。	【方針 1：半導体関連産業の集積】 ・「サプライチェーンの強化」に反映
	・半導体は、他の製造業と比べ、それほど多くの人材が必要な産業ではないので、 <u>必ずしも道央圏だけでなく、環境の良い所に半導体関連の企業に立地していただけるような機会はたくさんあるのではない</u> かと感じた。	【方針 1：半導体関連産業の集積】 ・「受入環境の整備」「参入促進・誘致強化」に反映 【方針 4：地域経済の活性化】 ・「②地域の付加価値の向上」の「関連投資や関係人口の拡大」に反映
	・ <u>中学生、高校生ぐらいの若年層に対して、技術系やものづくりに興味を持ってもらう教育をし、裾野を広げると、半導体や関連するものづくり工場等で働きたいという方が自然と増えてくる</u> と思う。	【方針 3：人材の安定供給】 ・「認知度・関心の向上」に反映
小高委員	・「 <u>方針 1 産業構造の転換</u> 」という文言に違和感がある。第 2 次産業が弱いので、それを強化するというのであれば理解できるが、次世代半導体の製造拠点ができて、北海道経済が発展するとしても、 <u>北海道にとって唯一無二のものは自然であり、その自然を活用している第 1 次産業も強み</u> だと思う。	【方針 1：半導体関連産業の集積】 ・「産業構造の転換」を「半導体関連産業の集積」に修正
	・世界の技術者が北海道で働きたいと来道する地域であり続けるためには、 <u>第 1 次産業や道央圏から離れた地域においても、持っている力や魅力を今後も磨き続けていくことが必要</u> 。	【方針 4：地域経済の活性化】 ・「②地域の付加価値の向上」の「地域の優位性発揮」に反映

<p>中村委員</p>	<p>・ <u>北海道の優位性が、ラピダス社の立地で認められ、世界的に注目されている。このタイミングを逃さず、北海道は全ての業種の企業の立地場所として優位性があり、ラピダスに認められた事実を強くアピールし、積極的に企業誘致をすべき。</u></p> <p>・ <u>道内人材の獲得競争ではない。世界中からトップ人材を誘致してくることが重要。</u></p> <p>・ <u>トップ人材が働きやすい受入体制の整備が必要。</u></p>	<p>【方針1：半導体関連産業の集積】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「受入環境の整備」「参入促進・誘致強化」に反映 <p>【方針4：地域経済の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「②地域の付加価値の向上」の「地域の優位性発揮」に反映 <p>【方針3：人材の安定供給】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「人材の育成・誘致」に反映
<p>野村委員</p>	<p>・ <u>本道の一番大きな課題は人口減少・労働力不足であると思うが、技術革新によってDX化が進み、それが課題を解決する</u>と感じている。例えば、自動運転は、完全運転自動化のレベル5はかなり厳しいと言われているが、<u>最先端の半導体ができれば、可能性も広がる。労働力不足、運転手不足で、物流分野も大変厳しい状況だが、解決できると期待。</u></p> <p>・ <u>北海道には、多種多様な強みを持った地域がある。各地の強みと次世代半導体が結びついた取組のイメージがどんどん膨らめば、道内各地でイノベーションが起こるのではないか</u>と思う。</p>	<p>【方針4：地域経済の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「①デジタルの好循環の全道展開」の「道内産業のスマート化」に反映 <p>【方針4：地域経済の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「①デジタルの好循環の全道展開」の「道内産業のスマート化」に反映
<p>山本委員</p>	<p>・ <u>今回、次世代半導体拠点の進出という中間ゴールができた</u>と捉えるべき。</p> <p>・ <u>半導体産業が北海道で成り立つためのデジタルインフラ、エネルギーインフラを道庁や国の機関などにしっかりとサポートしていただきたい</u>と思う。<u>この効果は、道央圏だけではなく、間違いなく全道に及ぶ。</u></p> <p>・ <u>現代の農業と観光は情報産業でもあり、情報インフラを支えるのが半導体。ラピダス社の立地は、間接的、直接的に、北海道の第1次産業、さらには、物流、観光、交通にもプラスの効果を与える。</u></p>	<p>【国家プロジェクト(次世代半導体製造拠点の整備)の成功が重要】を追加</p> <p>【方針4：地域経済の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「①デジタルの好循環の全道展開」の「デジタルインフラの整備」に反映 <p>【方針4：地域経済の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「①デジタルの好循環の全道展開」の「道内産業のスマート化」に反映